

みなみかぜだより

夏祭り特集

平成二十九年
八月号



第二十回

みなみかぜ夏祭り

七月二十八日(金)みなみかぜ夏祭りを開催いたしました。今回は肝属郡医師会立病院から健康・介護相談を企画していただき、例年にも増して賑わっていた様に思います。皆様、ご参加ありがとうございました。

療育音楽(九州炭鉱節)

今回は小規模療育音楽としての試みの中で、合唱での参加をさせて頂きました。みんなで楽しく手踊りしながら歌を唄おうということで『九州炭鉱節』を皆様と一緒に歌いました。職員の踊りも交えながら、楽しく参加する事ができました。練習では、不安もあったのですが、いざ本番になると大きな声と笑顔で歌っておられました。それを見ている私達も楽しい気分にならせていただきました。また来年も参加出来たらと思います。



楠龍太鼓披露

日本の祭りと言えば太鼓！今年も根占太鼓楠龍の演奏が始まりました。子供から大人まで多数の方々の参加をいただき、舞台上や観客席を練り歩きながらの演奏でした。打ち鳴らす太鼓が会場に響き渡り、躍動感ある力強い演奏で会場は大いに盛り上がりました。小さい太鼓を手を持ち、音に合わせて楽しそうに演奏している利用者様もいたようです。暑い夏をのりきる元気を頂きました。ありがとうございました。



フラダンス披露

みなみかぜの夏祭りも二十回目を迎えました。そんな夏祭りに、鹿屋市よりフラダンスチーム「ハウオリ・マヌ・ケイキ(幸せの青い鳥)」(小学生・中学生)十三名が愛くるしい笑顔とちょっぴりお色気の漂う素晴らしいフラダンスを披露して下さいました。会場より沢山の拍手をいただき、夏の夜のひとときを楽しませてもらいました。



舞踊(豊条流)披露

本年も昨年に続き豊条流の方々に舞踊を披露していただきました。小学生の子どもさん二名による「日和下駄」の可愛く息の合った舞から始まり、田中悠紀様の「しのび恋」、田中紀子様による「北の漁場」と可憐で力強い舞踊に利用者様、ご来場の皆様、大変楽しまれました。今後機会があれば、また披露して下さいましたら嬉しいです。夏祭りに参加していただき誠にありがとうございました。



新人職員による余興(恋ダンス)

新人職員の出し物は恋ダンスを踊りました。色違いの衣装を着用し、新人職員四名と他職員の方々にサポートしてもらい無事に成功することができました。未熟なところがあると思いますがこれからも頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



コスモス苑(ロックソーラン節)

コスモス苑の皆様には活気あふれる迫力満点の「ロックソーラン節」を披露して頂きました。男女混合で、力強く漁師が網を引く姿や荒れ狂う波に負けない姿をしつかり再現され、見ている皆さんを虜にしておりました。太鼓も使用しており迫力、インパクトは一番だったのでないでしょうか？



毎年参加して盛り上げて頂きありがとうございます。